

北海道新幹線を使用した貨客混載事業について

当社は、2019年4月から佐川急便株式会社（以下、「佐川急便」）と共同で、宗谷線の旅客列車で宅配便荷物を運ぶ貨客混載事業を実施していますが、この3月から新たな取り組みとして、北海道新幹線を使用した宅配便荷物の輸送事業を開始します。

また、JR東日本グループと連携して北海道産の生鮮品や駅弁などをお届けする事業につきましても検討しています。

1. 宅配便輸送事業の開始

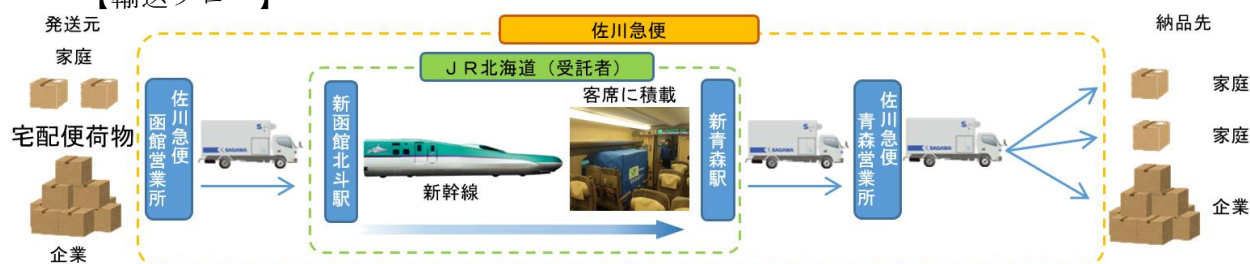
(1) 経緯

| | |
|---------|---|
| 2019年4月 | 宗谷線（稚内・幌延間）の旅客列車の座席に荷物を載せて輸送する貨客混載事業を開始 |
| 2019年夏 | 佐川急便より、北海道新幹線で宅配便荷物を輸送してリードタイムの短縮を図りたいとのご相談を受け、北海道新幹線における貨客混載事業の検討を開始（新型コロナの影響で検討が一時中断） |
| 2021年1月 | 実車検証・報道公開を実施 |
| 2021年3月 | 事業開始 |

(2) 事業概要

| | |
|-------|---------------------------------|
| 事業区間 | 北海道新幹線 新函館北斗駅～新青森駅間（148.8km） |
| 輸送列車 | 一日あたり上り列車1本（平日のみ） |
| 輸送品目 | 佐川急便が道央・道南地区で集荷して青森県域へ配達する宅配便荷物 |
| 事業開始日 | 2021年3月24日（水）から |

【輸送フロー】



- ・新函館北斗駅で、佐川急便函館営業所の担当者が宅配便荷物を入れて持ち込んだ専用ボックスを列車内に積み込みます。
- ・新青森駅で、佐川急便青森営業所の担当者が専用ボックスを列車内から取り下ろします。

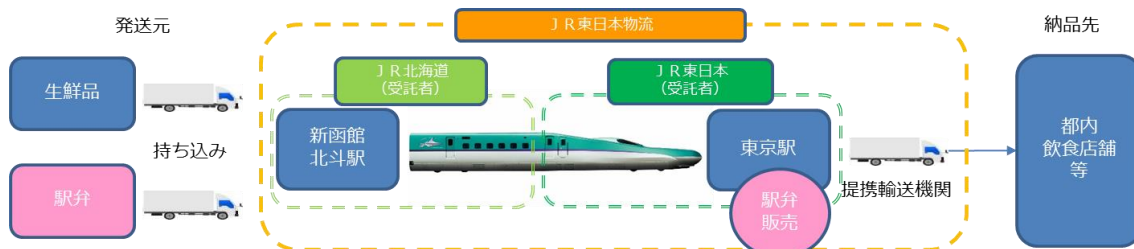
(3) 出発式セレモニーの実施

| | |
|----|----------------------|
| 日時 | 2021年3月24日（水） 21時頃より |
| 場所 | 新函館北斗駅 |

2. 生鮮品等輸送事業の検討

J R 東日本グループと連携して、北海道産の生鮮品や駅弁などを、新幹線を使って東京駅へ輸送することを検討しており、事業化に向けて調整中です。

【検討中の輸送フロー】



- ・新函館北斗駅に持ち込まれた生鮮品や駅弁を新幹線の業務用室に積み込み、東京駅へ輸送します。
- ・東京駅で取り下ろした生鮮品は都内の飲食店舗等へ輸送し納品、駅弁は東京駅構内の店舗で販売することを検討しています。

(参考) 宅配便輸送と生鮮品等輸送の違い

| | 宅配便 | 生鮮品等 |
|------------|-------------|----------------|
| 利用事業者 | 佐川急便(株) | (株)ジェイアール東日本物流 |
| 区間 | 新函館北斗駅→新青森駅 | 新函館北斗駅→東京駅 |
| 積載場所 | 客席(座席) | 業務用室 |
| 荷物の発送元・納品先 | 宅配便利用のお客様 | 特定の法人 |